

「H24年度 かがしま木の家づくり」が始まりました！

昨年、県産材を使ってみどりの工務店で家を作ると、県産材の使用量に応じて施主様へ助成金が当たるとして、みどりの工務店253社から410戸の応募があった「かがしま木の家づくり推進事業」が今年も始まりました。今年は県単独の事業となり、規模は縮小されましたが、昨年並みの効果に期待したいものです。

今年の内容は以下の通りです。

1. かがしま木の家づくり推進事業 …31,500千円

かがしま緑の工務店が、県内に建設する木造の新築又は増改築の住宅で県産材の使用量が10㎡以上の家へ下記金額を助成する。

10㎡～20㎡の時80,000円 20㎡以上で100,000円 その内、認証かがしま材使用量×4000円の上乗せ 但し、100,000円及び140,000円が上限

募集期間及び募集戸数 5/1～6/30 100戸、7/1～9/30 120戸、10/1～11/30 80戸

2. 環境にやさしい「かがしま木の家」推進事業 …8,073千円

かがしま緑の工務店の行う「完成・構造見学会」「バスツアー」に 30万円/工務店以内 「かがしま木の家」に対するCO₂固定量を認証し、認定証書を発行

3. かがしま木の家づくりサポート事業 …4,000千円

「かがしま木の家」を造る施主への金利優遇商品開発への支援 …貸出金利0.1%程度の優遇商品の開発を各金融機関へ依頼中。近日中には正式決定の予定です。

【情報】

「成長への挑戦」という講演会が開催されます

岩手県気仙郡住田町の第三セクター「三陸木材高次加工協同組合」と「協同組合さんりくランバー」は、昨年の3.11東北大震災により甚大な被害を受けましたが、復興に向け、陣頭指揮を執っておられる 中川信夫氏の講演会です。

日時 平成24年7月18日(水) PM1:30～

場所 高山やぶさめ館 多目的ホール (Tel.0994-31-5711)

講師 三陸高次木材加工協組 代表理事 中川信夫氏

「床仕上げ材に杉板を使うのは非常識」？

県内の新築現場で起きた杉床板仕上げの傷に対する建築士事務所協会内「建築相談調査会」の見解です。以前、杉の葉節(気根)でも同様のトラブルがありました。杉の「暖かさや肌触りの良さ」を理解して貰える様事前の説明を十分に行いましょう。

【定休日】

7月は1, 8, 14, 15, 21, 22, 28, 29日となります

8月は5, 12, 13, 14, 15, 19, 25, 26日となります

宜しくお願ひします。

